

市民文化スポーツ局

一般会計要求総額 13,265百万円
(対前年度 +9.8%)

【平成29年度 予算要求の方針】

市民文化スポーツ局では、「人にやさしく元気なまちづくり」の実現に向けて、市民主体のまちづくりを推進します。

- ・文化芸術やスポーツの振興を通じて、にぎわいやふれあいづくりを創出します。
 - ・「安全・安心条例行動計画」に基づき、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりを推進します。
 - ・地域活動を担う人材の育成やNPO等の運営力向上等による市民との協働・連携を推進します。
 - ・個人番号カードの普及促進と証明書コンビニ交付の導入による市民サービスの充実を図ります。
- あわせて、所管施設の老朽化対策や公共施設マネジメント施設分野別実行計画の推進に取り組みます。

【平成29年度 予算要求の基本的な考え方】

○：新規事業、◎：拡充事業

◎文化芸術の街・北九州の発信

要求額 5,020百万円 (対前年度 +12%)

文化振興計画に基づき、次世代の文化芸術を担う人材育成や、多くの人が高品質の文化芸術に気軽に触れることのできる環境づくり、文化芸術の持つ底力を生かしたまちづくり、にぎわいづくりなどに努め、文化施策を総合的に推進します。

- (新) 美術鑑賞事業「じゅっぴ(10歳からの美術館)」 (拡) 優れた文化・芸術との“出会い”創造事業
(新) 関門連携による国内外映画・テレビドラマ誘致・支援事業 (拡) 北九州国際音楽祭 など

◎スポーツを通じたまちなぎわいづくりの推進

要求額 2,415百万円 (対前年度 +13%)

スポーツ振興計画に基づき、市民スポーツの振興を図るとともに、国際的・全国的スポーツ大会の誘致、ラグビーワールドカップ2019日本大会や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地誘致などに積極的に取り組みます。

- (拡) 大規模国際大会等誘致事業 (新) ワールドラグビー女子セvens開催事業
(拡) 夢・スポーツ振興事業 (継) 北九州マラソン開催事業 など

◎安全・安心を実感できるまちづくりの推進

要求額 562百万円 (対前年度 ▲3%)

北九州市安全・安心条例に基づき、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりに向け、地域、事業者、学生等の自主防犯活動の活発化を図り、安全・安心な都市イメージの発信に取組みます。また、通学路防犯灯の充実や防犯カメラの設置支援のほか、暴力団事務所撤去運動への支援など、警察等と連携し、暴力団排除に取組みます。

- (継) 日本トップクラスの安全・安心なまちづくり関連事業 (新) 暴力団事務所撤去運動支援事業
(継) ニセ電話詐欺対策の強化 (継) 防犯カメラ設置補助事業 など

◎市民との協働・連携の推進

要求額 5,268百万円 (対前年度 +8%)

市民の皆様へ、地域コミュニティや協働の重要性の理解を求めながら、主体的な地域づくりを促進するための取り組みを実施するとともに、市民の学習活動を支援し、地域活動に参画する人づくりを進めます。また、証明書コンビニ交付サービスを導入し、個人番号カードの普及に取り組みます。

- (新) 地域課題解決のための人材活用支援事業 (拡) 市民センターの充実
(継) 多様な主体による市民活動の輪づくり事業 (継) 証明書コンビニ交付サービス事業 など

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成29年度に実施することが確定しているものではありません。